

本時のねらい

指示する語句と接続する語句の役割を理解し、使い分けができるようにする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

授業の内容に入りやすくなるよう、興味・関心をもたせるために端末を使用する。
反復作業に苦手意識を持っているため、ゲーム性のある教材を活用する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・1人1台タブレット端末
- ・PowerPoint スライド
- ・Kahoot!
- ・タブレットドリル（東書）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習を行う。 修飾語・接続語・独立語の練習問題を「Kahoot!」で行う ・本時のめあての確認を行う。 めあて「指示語と接続語の役割を知ろう」 <p>【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使ったワークの問題を再度活用し、クイズ形式で出題する。 ・興味・関心をひくためにICT教材を活用する。 「Kahoot!」とは、無償で使えるクイズアプリで、4択問題や○×問題などを、時間制限つきで回答することができる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使用して指示する語句の説明、指示する語句とはどのようなものがあるか、確認する。 ・ワークシートを使って簡単に練習する。 ・パワーポイントを使用して接続する語句の説明、接続する語句とはどのようなものがあるか、確認する。 ・タブレットドリルで問題を解き、練習する。 <p>【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話での使用例を用いて、実際に生徒と会話をしながら使い方を説明する。 ・興味・関心をもたせるために、パワーポイントにアニメーションなどの工夫を入れる。 ・使い方を想像しやすいように、日常会話を例にして生徒とやり取りをする。 ・パワーポイントに指示する語句・接続する語句の例を表示しておき、困った時にいつでも確認できるようにしておく。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットドリルの答え合わせをする。 ・授業のスライドを振り返り、復習を行う。 <p>【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの語句の説明時に使用した、会話の例を再度用いて理解の定着が図れているかを確認する。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】Kahoot!を用いて前時の復習をする様子



【写真2】タブレットドリルを用いて演習を行う様子



【写真3】スライドで本時の振り返りをする様子

児童生徒の反応や変容

- ・Kahoot!の持つゲーム性によって、普段よりも楽しそうに学習に取り組んでいた。
- ・パワーポイントのアニメーションなどにより、紙面で説明を読むよりもイメージをして問題をとらえられ、知識の定着が図れていた。
- ・タブレットドリルの演習では、答え合わせが即時にできるため、振り返りにも積極的に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ICTを活用することで、集中して、かつ楽しんで学習に取り組むことができたと感じた。
- ・漢字が分からないなどの困難があっても、選択肢や見本が出るため、学習したい問題のみに意識を向けることができたと感じた。